


## 安全データシート

<p>1.化学物質等及び会社情報</p> <p>化学物質等の名称 製品コード 会社名 住所 担当部署 電話番号 FAX番号 化学品の推奨用途、使用上制限</p>	<p>酸化マグネシウム MJ-30 岩谷化学工業株式会社 滋賀県湖南市菩提寺 327-14 営業部東部グループ 0748-74-0321 0748-74-2469 蒸着材、触媒、セラミックス原料、蛍光体材料、硝子原料等</p>
<p>2.危険有害性の要約</p> <p>GHS分類</p> <p>・物理化学的危険性</p> <p>・健康に対する有害性</p> <p>・環境に対する有害性</p>	<p>火薬類 : 分類対象外</p> <p>可燃性／引火性ガス : 分類対象外</p> <p>可燃性／引火性エアゾール : 分類対象外</p> <p>支燃性／酸化性ガス類 : 分類対象外</p> <p>高压ガス : 分類対象外</p> <p>引火性液体 : 分類対象外</p> <p>可燃性固体 : 区分外</p> <p>自己反応性物質 : 区分外</p> <p>自然発火性液体 : 分類対象外</p> <p>自然発火性固体 : 区分外</p> <p>自己発熱性物質 : 区分外</p> <p>水と接触して可燃性／引火性ガスを発生する物質 : 区分外</p> <p>酸化性液体 : 分類対象外</p> <p>酸化性個体 : 区分外</p> <p>有機過酸化物 : 分類対象外</p> <p>金属腐食性物質 : 分類できない</p> <p>急性毒性（経口） : 区分外</p> <p>急性毒性（経皮） : 分類できない</p> <p>急性毒性（吸入：ガス） : 分類対象外</p> <p>急性毒性（吸入：蒸気） : 分類できない</p> <p>急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） : 分類できない</p> <p>皮膚腐食性／刺激性 : 区分外</p> <p>眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分 2A</p> <p>呼吸器感作性 : 分類できない</p> <p>皮膚感作性 : 分類できない</p> <p>生殖細胞変異原性 : 分類できない</p> <p>発がん性 : 分類できない</p> <p>生殖毒性 : 分類できない</p> <p>標的臓器／全身毒性（単回暴露） : 区分 3（気道刺激性）</p> <p>標的臓器／全身毒性（反復暴露） : 区分外</p> <p>吸引性呼吸器有害性 : 分類できない</p> <p>水生環境有害性物質・急性 : 分類できない</p> <p>水生環境有害性物質・慢性 : 分類できない</p>

<p>ラベル要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵表示又はシンボル</li> <li>・ 注意喚起語</li> <li>・ 危険有害性情報</li> <li>・ 注意書き</li> </ul>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>警告</p> <p>強い目の刺激のおそれ</p> <p>屋外または換気のよい区域でのみ使用すること。      必要に応じて、適切な保護具（保護眼鏡、保護衣、保護手袋、保護マスクなど）を着用する。      目に入った場合は、直ちに流水で数分間洗い流し、医師の手当て、診断を受けること。      容器を密閉して換気の良いところで保管すること。      取り扱い後はよく手を洗うこと。      内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。</p>
<p>3.組成、成分情報 物質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学名又は一般名 別名</li> <li>・ 化学式</li> <li>・ 官報公示整理番号 (化審法・安衛法)</li> <li>・ CAS番号</li> <li>・ 分類に寄与する不純物及び安定 化添加物</li> <li>・ 濃度または濃度範囲</li> </ul>	<p>酸化マグネシウム (Magnesium Oxide)      マグネシア (Magnesia)</p> <p>MgO</p> <p>(1) - 4 6 5</p> <p>1 3 0 9 - 4 8 - 4</p> <p>情報なし</p> <p>99.9% 以上</p>
<p>4.応急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吸入した場合</li> <li>・ 皮膚に付着した場合</li> <li>・ 眼に入った場合</li> <li>・ 飲み込んだ場合</li> </ul>	<p>新鮮な空気のある場所に移動し、うがいをさせ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p> <p>皮膚を速やかに洗浄すること。</p> <p>清浄な水で洗浄する。必要があれば眼科医の手当てを受ける</p> <p>速やかに口をすすぎ、直ちに医師に連絡すること。</p>

<p>5.火災時の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火剤</li> <li>・ 使ってはならない消火剤</li> <li>・ 特有の危険有害性</li> </ul>	<p>本物質は不燃性。周辺の火災に適応した消火剤を使用する。</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p>
<p>6.漏出時の措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人体に対する注意事項</li> <li>・ 環境に対する注意事項</li> <li>・ 封じ込め及び浄化方法と機材</li> </ul>	<p>こぼれた場合は、発塵のないように回収する 作業者は適切な保護具（防塵マスク）を着用</p> <p>特に無し</p> <p>漏洩物を掃き集めて密閉できる容器に回収し、後で廃棄処理する。</p>
<p>7.取り扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取扱い予防措置</li> <li>・ 保管</li> </ul>	<p>なるべく粉塵の発生、拡散を避ける 必要により、局所排気装置を設置</p> <p>密閉し、保管する。</p>
<p>8.暴露防止及び保護措置</p> <p>管理濃度</p> <p>許容濃度</p> <p>設備対策</p> <p>保護具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼吸器の保護具</li> <li>・ 手の保護具</li> <li>・ 眼の保護具</li> <li>・ 皮膚及び身体の保護具</li> </ul>	<p>設定されていない</p> <p>TLV : 10 mg / m<sup>3</sup> (TWA) (ACGIH)</p> <p>必要により、局所排気装置を設置する。</p> <p>防じんマスクを使用する。 適切な保護手袋を着用 必要に応じて保護眼鏡着用 保護衣、安全靴等の保護具を着用する。</p>
<p>9.物理的及び化学的性質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観等</li> <li>・ 臭い</li> <li>・ pH</li> <li>・ 粒度</li> </ul>	<p>白色粉末</p> <p>無臭</p> <p>データなし</p> <p>0.3 μm</p>

<p>10.安定性及び反応性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定性</li> <li>・危険有害反応性可能性</li> <li>・避けるべき条件</li> <li>・混触危険物質</li> <li>・危険有害性のある分解性生物</li> </ul>	<p>空気中の水分を吸収する。  強酸、ハロゲンと激しく反応する。  粉塵の発生、拡散  酸、ハロゲン  なし</p>
<p>11.有害性情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急性毒性</li> <li>・皮膚腐食性／刺激性</li> <li>・眼に対する重篤な損傷／刺激性</li> <li>・呼吸器感作性又は皮膚感作性</li> <li>・生殖細胞変異原性</li> <li>・発がん性</li> <li>・生殖毒性</li> <li>・特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）</li> <li>・特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）</li> <li>・吸引性呼吸器有害性</li> </ul>	<p>多量に経口摂取すると、下痢を起こすことがある。  粉塵を吸入すると上気道の刺激。  データなし  眼に入ると、眼が刺激される  データなし  データなし  データ不足のため分類できない  データなし  データなし  データなし</p>
<p>12.環境影響情報</p>	<p>情報無し</p>
<p>13.廃棄上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残余廃棄物</li> <li>・汚染容器及び包装</li> </ul>	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う  危険物廃棄処理地に埋め立てる</p> <p>洗浄してリサイクルまたは地方自治体の基準に従って処分</p>
<p>14.輸送上の注意</p> <p>特別の安全対策</p>	<p>輸送手段は問わない。（車両、船舶、航空機等、全て可）</p> <p>特別の安全対策は必要ないが、輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、発塵のないように取り扱うこと。</p>

15.適用法令	情報無し
16.その他の情報 ・引用文献	1) 許容濃度の勧告 2) 日本産業衛生学会 3) 国際化学物質安全性カード ( I C S C )